

# 自治会連合会との 意見交換会を開催



津別町議会は、より開かれた身近な議会への取り組みとして、6月27日、「まちづくりについて」をテーマに、自治会連合会と意見交換会を行いました。はじめての試みでしたが、さまざまな意見などが出され、活発な意見交換会となりました。

## 自主防災組織について

- ・自治会として自主防災組織の整備をどこまでやればよいのか。
- ・昼間実施したが、夜に対応するため発電機を要望した。
- ・町の防災組織がきちんとしていないところに問題がある。
- ・高齢化率40%を考えると、自治会主導では無理。国や自治体の責務と考える。

## まちづくりについて

- ・組織立ち上げのため2回町の考えを聞いたが、条例など堅苦しく分かりづらい。
- ・自主防災をやれといわれても、お金がなくてできない。
- ・自主防災組織のヒナ型を示してほしい。

- ・議員を増やし、若い人も出られるように、議会も夜行など工夫すべき。他町村にない政策で人口を減らさない町づくりを。身近に店がない、ハイヤーが夜8時でなくなる町は他にはない。
- ・学校がなくなると地域は寂れていく、議員は先頭に立って地域活性化に取り組んでほしい。活汲小学校は避難場所になっているが、廃校後はどうなるのか。
- ・空き家に周囲の人が非常に迷惑している。議員はどう対応してくれるのか。
- ・高齢者が行方不明になったり、独り暮らしの方が亡くなっていたりしたが、個人情報や自治会長が把握できない。
- ・町花はずらんだが、観光面から考えクリンソウに変えてはどうか。

## 議会改革について

- ・フォーラムでの「議会が変わる町民が変わる」は納得がいかない。開かれた議会づくりをどう考えているのか。若い人が出られる環境づくりをしてほしい。
- ・委員会の経過、内容を町民に知らせることはできないのか。一人一人の考えが分かっている。町長が行っている「まちづくり懇談会」に議員も参加して意見を聞いてほしい。

## 機構改革について

- ・議会は追認、現状対応ではなく、議員提案権を使い積極的に長期計画や施策にかかわり、将来展望を示すべき。
- ・あの議会広報では駄目、予算を付けさせて充実させては。
- ・議員も町民との乖離がかなりある。
- ・グループ制をとっているが、高齢化の中で理解できていない。
- ・グループ制は、分かりづらく、個々の職員の意識改革が必要だ。

## 町長行政報告 (要約)

### 第3回臨時会

#### ■叙勲

平成26年春の叙勲におきまして、高台 尾形正王様が、統計調査員を永年務められた功績により、瑞宝単光章を受章されました。

#### ■活汲中学校閉校式

3月24日、児童生徒と教職員、PTA関係者の出席のもと行われ、67年の教育活動に幕を閉じたところです。

閉校に伴う生徒の新しい学習環境の整備や通学方法等については、保護者や地域の意見を踏まえて対応してきており、現在、津別中学校でスムーズに学習や部活動が行われています。

#### ■その他報告された事項

- 寄附 ■津別高校の存続
- 津別町環境基本計画
- 特別養護老人ホーム「いちいの園」等の経営移譲
- 交通安全推進運動
- 夢ふうせんののかの開所
- 有機ビーフカレーの販売
- 体験交流施設のオープン
- 国

## 常任委員会 特別委員会



治山事業予定箇所の現地調査

### 総務文教常任委員会

#### 第2回（5月12日）

- ・固定資産評価員の選任について
- ・町税条例等の一部改正について
- ・第5次総合計画後期実施計画について
- ・旧営林署旭町宿舎及び土地の購入について
- ・庁舎等耐震調査に基づく診断結果について

#### 第3回（6月3日）

- ・町内視察結果について
- ・町税条例の一部改正について
- ・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について
- ・北海道市町村総合事務組合規約の一部変更について
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更について

### 産業福祉常任委員会

#### 第2回（5月13日）

- ・国民健康保険税条例の一部改正について
- ・介護保険条例及び後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- ・契約の締結の議決事項の変更について
- ・旭町団地外構工事の契約の締結について
- ・町道107号線用地取得について

#### 第3回（6月4日）

- ・町内視察結果について
- ・協定の締結の議決事項の変更について
- ・個別排水処理施設の管理運営について
- ・森林バイオマス熱電利用構

#### 想の取り組みについて

- ・藤倉の沢（木樋）小規模治山事業について
- ・臨時福祉給付金について
- ・権利擁護センターの設立について
- ・介護保険施設等従事者就業支援について

### 議会運営委員会

#### 第6回（5月20日）

- ・第3回津別町議会臨時会の運営について
- ・行政報告及び提案理由の取り扱いについて

#### 第7回（6月13日）

- ・第4回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて
- ・行政報告及び提案理由の取り扱いについて

#### 第8回（6月19日）

- ・第4回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書の取り扱いについて

### 議会広報特別委員会

#### 第7回（7月14日）

- ・議会報151号の編集について

- 営農地再編整備事業
- 船橋・津別青少年交流協会総会
- 道路クリーン作戦
- 町民植樹祭

### 第4回定例会

#### ■ 道州制

道州制は、新たな市町村合併につながるとして、津別町を含む全道124の町村議会で反対決議がされており、自民党内の道州制推進本部の会合においても慎重意見が相次いだことから、今国会での法案提出は見送られたところとす。

#### ■ 認定こども園

5月28日付で事業内示を受け、指令前着手届を北海道に提出しました。6月2日付で、社会福祉法人「夢つべつ」の法人認可が下り、翌日、法人登記がされたところです。

#### ■ その他報告された事項

- 寄附
- 阿寒国立公園指定80周年記念シンポジウム
- 町内企業への訪問
- 殉公者追悼式
- 大地と海をつなぐ植樹
- 建設工事等の発注状況

# 議会日誌

## 5月

- 8日 オホーツク町村議会議長会定期総会（置戸町）
- 12日 第2回全員協議会  
第2回総務文教常任委員会
- 13日 第2回産業福祉常任委員会
- 20日 第6回議会運営委員会
- 23日 第3回津別町議会臨時会
- 26日 阿寒国立公園指定80周年記念シンポジウム（釧路市）
- 30日 オホーツク圏活性化期成会定期総会（北見市）

## 6月

- 3日 第3回総務文教常任委員会
- 4日 第3回産業福祉常任委員会
- 5～6日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 13日 第7回議会運営委員会
- 19～20日 第4回津別町議会定例会
- 19日 第8回議会運営委員会
- 27日 自治会連合会と議会との意見交換会

## 7月

- 2～3日 津別地区国営農地再編整備事業中央要請（東京都）
- 4～5日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）
- 7日 オホーツク圏活性化期成会総務文教厚生専門委員会（北見市）
- 12日 台北駐日経済文化代表處札幌分處 陳處長 議会表敬訪問来町
- 14日 議会広報特別委員会

# 意見書

関係行政庁へ  
提出しました

- 規制改革会議の農業改革に関する意見の取り扱いに関する意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 平成26年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など平成27年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- 集团的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書
- 地方教育行政法改正に係る意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

## 町村議会議員研修会に参加

7月4日に札幌市で開催されました。研修では、法政大学法学部教授 廣瀬克哉氏からは「議会改革のこれから」と題し、読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏からは「これからの日本の政治」と題し、それぞれ講演がありました。



## は ぐ る ま

去る7月4日、札幌市で、北海道町村議会議員研修会が開催され、廣瀬克哉（法政大学教授）講師による「議会改革のこれから」についての講演が行われた。講演の中で、いま全国的に議会改革の広がりが出てきていることが話された。平成18年に、北海道栗山町議会の議会基本条例の制定以降、全国の議会の76%が改革に取り組み、566の議会が議会基本条例が制定されている。

わが議会においても、住民との距離をなくし、住民のための議会活動、住民が自らの代表と実感できる議会を目指し議会改革を進めている。これまで、議会改革フォーラムや自治会連合会との意見交換を行ってきた。さらに、委員会も本会議と同様に公開になっているが、現状では傍聴のできる状況ではないことから、委員会の在り方やインターネット中継など、改革に向けた課題は山積みされている。議会基本条例の策定を目指し、研修会で得た事を生かし進めなければならない。（村田）

## 歯 車